

白山の火山活動解説資料（平成 20 年 12 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況

国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは、山頂部に噴気は認められませんでした。その他の状況にも特に異常はありませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

6 日及び 17 日に白山付近を震源とする地震が一時的にやや増加しましたが、いずれも振幅は小さく、その後、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

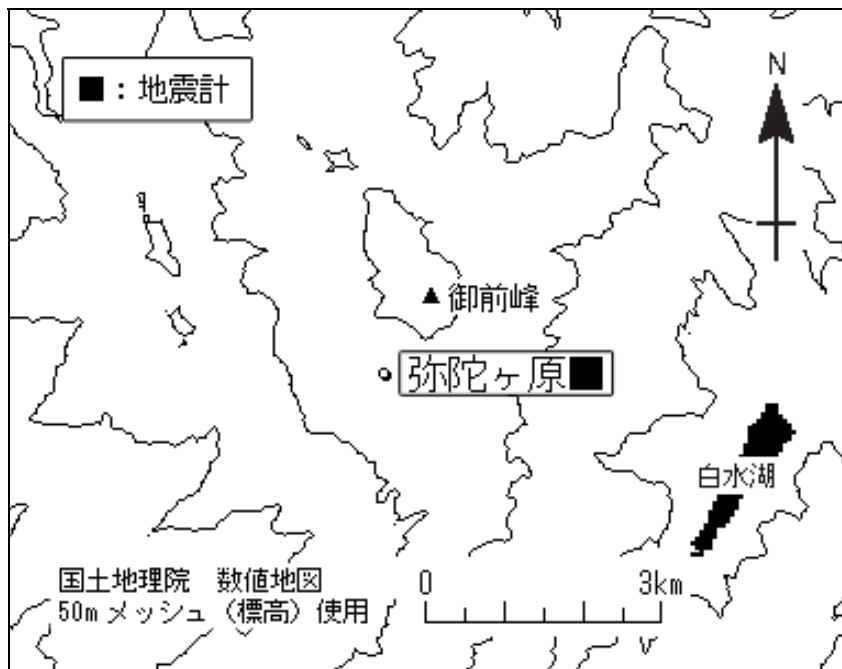


図 1 白山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 1 月分）は平成 21 年 2 月 6 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省金沢河川国道事務所、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用したものです（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

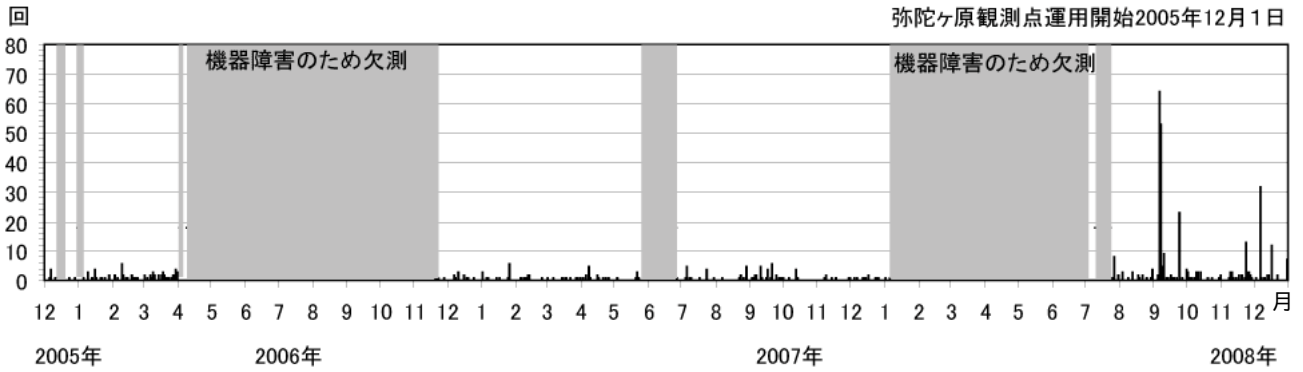


図 2 白山 日別地震回数（2005 年 12 月 1 日～2008 年 12 月 31 日）

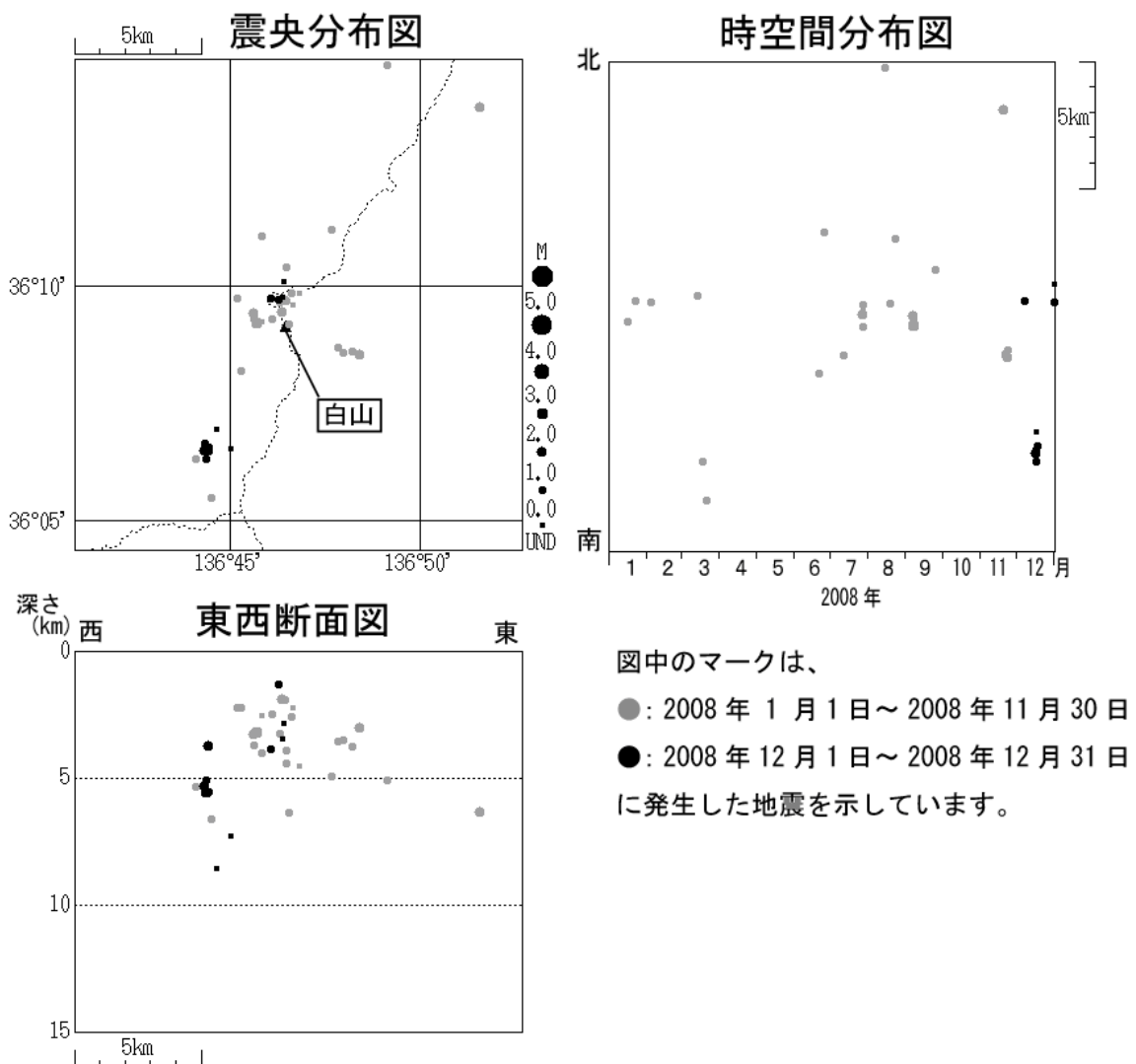


図 3 白山 震源分布図（2008 年 1 月 1 日～2008 年 12 月 31 日）
 M（マグニチュード）は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。